



高橋 正浩 議員
(無会派)



一般質問

■雇用調整助成金の延長について

雇用調整助成金の特例措置延長を受けて市の取組は？

質 元の事業所に在籍しながらパートタイムのような形で出向いた先で働きながら賃金を得つつ、足りない分だけ雇用調整助成金で補うという仕組みにおいて、七尾市役所で仕事をしていたことが対象となり得るのか、可能であれば受入れを予定しているのか。市内の人手不足の解消にもつながる可能性も含め、出向先の確保について、市として支援を行う予定があるか。

答 現行の雇用調整助成金の制度は、七尾市役所のような公的機関への在籍型出向を実施する際にも助成金の対象となっている。国の令和6年度補正予算では、能登地域の雇用対策として、財政型出向の出向元と出向先の企業に対し、従業員の賃金を助成する産業雇用安定助成金が新たに創設される予定である。確認できた状況では、出向先で公務員として受け入れるのはなかなか難しいと思っており、会計年度職員など、どのような形で受入れが可能か検討していきたい。

雇用調整助成金に関する連絡協議会では、市内の事業者の出向元や出向先のニーズを把握し、在籍型出向を希望する事務所、従業員に対し情報の提供を行うなどしながら、マッチング支援を行うこととしており、復興のための新たな事業の創出や、慢性的な人手不足に対するマッチングなど、新たな雇用に向けた取組を経済界とともに考えていきたい。



佐藤 喜典 議員
(市民クラブ)



ワーク・ライフ・バランス

一般質問

■七尾市職員の働き方について

質 能登半島地震で懸念となっている災害廃棄物の処理について、市職員が通常業務をする中での対応には限界がある。この業務を専門とする新たな室の設置の考えはないのか。また、時間外勤務の原因やその縮減の取り組みについても伺う。人員確保の観点から令和7年度の職員採用試験において、高校卒業程度の採用枠を設けてはどうか。

答 廃棄物処理担当である環境課のみならず、多くの部署で災害関連業務と通常業務が混在している状態であり、場合によっては災害関連業務を切り分けることが効率化につながると考えられ、現在検討中である。業務量の変化を見ながら次年度に向け体制を検討していきたい。時間外勤務においては管理職が職員の出勤状況や届出がきちんとされているかといった目配り、気配りをしっかりすること、その原因を確認するなど、まずは改善に向けて取り組んでいきたい。また、採用試験については、近年、応募者数が減少傾向にあり、特に建築技師は採用者がゼロという状況にある。令和7年度は、高校卒業程度の採用枠を設けることも含めて検討し、必要な職員数の確保に努める。